

令和 7 年度
「運営に関する計画」

大阪市立田川小学校

令和 7 年 4 月

大阪市立田川小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価(総括シート)

1 学校運営の中期目標

現状と課題

令和4年度から大阪市教育振興基本計画(令和4年度～7年度)が新たに策定された。基本理念のもとに3つの最重要項目「安全・安心な教育の推進」「未来を切り拓く学力・体力の向上」「学びを支える教育環境の充実」について取組を進めている。

「安全・安心な教育の推進」については、「いじめアンケート」や「相談機能」を活用していじめ等の早期発見・早期解決に努めるとともに、毎日の「心の天気」によって日々の気持ちの変化を見守り、適切な言葉かけを心がけている。さらに生活指導連絡会(スクリーニング会議Ⅰ)を毎月行い、配慮が必要な児童についての情報を教職員で共有することで児童に寄り添った対応や解決につなげている。スクリーニング会議Ⅱは毎学期定例開催し、学校・区役所・SC・SSW・地域等との情報交換を積極的に進め、連携を深める場となっている。保護者アンケート「学校は安全・安心な学校・学級づくりに取り組んでいる」への肯定的な回答は93.6%と保護者の学校への信頼も厚い。また、児童会が主体となって毎学期の「あいさつ週間」の計画を進めたり、学校のきまりについて検討し、校則を見直す機会をもったりする等、児童が自主的に活動を広げていく場が多く見られた。児童アンケートの「学校のきまりを守っている」への肯定的な回答は88.6%となり、意識の高さがうかがえる。今後は校内の安全についての意識を高めていくことを新たな課題としている。

「未来を切り拓く学力・体力の向上」については、国語科を研究教科とし、交流活動を通して自分の考えを伝えあい、広げ、深める力の育成に取り組んだ。その結果、児童アンケート「国語の授業の内容はわかる」に肯定的な回答をした児童は91.3%となり、全国学力・学習状況調査、大阪市学力経年調査ともに全国平均を上回る成果を上げている。漢字検定では、各々が自分の目標に向かって計画的に漢字学習を行う意欲が高まった。また、全学年で出前授業・社会見学・芸術鑑賞等の体験学習の機会をもち、多様な学びにつなげることができた。体力向上については、陸上・水泳・ラグビー・野球など出前授業で外部講師からの指導を受けることで児童の意欲が高まった。児童アンケート「体を動かすことが好きだ」に肯定的な回答は85.9%と取組の成果が見られる。教材の整備、体験学習の精選が課題となっている。

「学びを支える教育環境の充実」では、毎日の授業での調べ学習やプレゼンテーション機能を用いた発表活動、計算や漢字の学習でのデジタルドリルの活用、タイピングアプリの利用等、様々な学習場面で学習者用端末を活用する姿が見られた。児童アンケート「タブレットを使った授業は好きだ」「タブレットや大型テレビなどのICT機器を使った授業はわかりやすい」に対する肯定的な回答はそれぞれ94.9%、94%と目標を大きく上回った。今後はさらに使用頻度を高くしていくことが求められている。働き方改革においては、「ゆとりの日」を設定するだけでなく、後期からは週の授業時数を1コマ削減し、校内掲示板や会議室の活用によって職員朝会を週1回にした。これにより教職員の気持ちに余裕ができ、時間外労働もさらに減少できた。今後は会議の進め方の改善、教育の情報化やデータの整理・引継ぎなど、より効果的に業務の効率化を進めていく。

全体として、年々向上が見られる。さらに成果を上げられるように今後も継続した取組を進めていく。学級での学びや学校行事での体験をとおして、児童一人一人が認められ、達成感・成就感が味わえる場をもてるようさらに努めていきたい。

中期目標

【安全・安心な教育の推進】

- ◎小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を増加させる。
- ◎年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を減少させる。
- ◎年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を増加させる。
- ◎自己肯定感に富む児童を育成する取組を進め、年度末の校内調査において、「自分にはよいところがありますか」の回答に肯定的に答える児童を増加させる。
- ◎規範意識を醸成する取組を進め、年度末の校内調査において、「学校のきまりを守っている」および「進んであいさつができていますか」の回答に肯定的に答える児童を増加させる。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- ◎小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、肯定的に「思う」と回答する児童の割合を増加させる。
- ◎小学校学力経年調査における国語及び算数の平均正答率を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も向上させる。
- ◎小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を増加させる。
- ◎学力向上の様々な取り組みを進め、年度末の校内調査において、「いつも、あきらめずに粘り強く学習している」の回答に肯定的に答える児童を増加させる。
- ◎基本的な生活習慣を確立させる取組を進め、年度末の校内調査において、「毎日、決められた時刻までに寝ていますか」「毎日、決められた時刻までに起きていますか」の回答に肯定的に答える児童を増加させる。

【学びを支える教育環境の充実】

- ◎デジタル教材や協働学習支援ツールを用いた学習を積極的に取り入れ、ICTの活用を進める。
- ◎「タブレットを使った授業は好きだ」「コンピューターや電子黒板を使った授業はわかりやすい」の項目で年度末の校内調査において、肯定的に答える児童を増加させる。
- ◎ゆとりの日を設定・実施し教職員の働き方改革を進める。

2 中期目標の達成に向けた年度目標（全市共通目標を含む）

【安全・安心な教育の推進】

- 年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。
- 小学校学力経年調査における「自分にはよいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を昨年度より上回る。
- 令和7年度の校内調査における「進んであいさつができていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を84%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を42%以上にする。
- 小学校学力経年調査における算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント以上向上させる。
- 小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的に回答する児童の割合を73%以上にする。
- 令和7年度の校内調査における「毎日、決められた時刻（低学年午後9時・中学年午後9時30分・高学年午後10時）までに寝ていますか」「毎日、決められた時刻（午前7時）までに起きていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を60%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

- 授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の70%以上にする。
- ゆとりの日を週に1回以上設定・実施し、教職員の働き方改革を進める。
- デジタル教材や協働学習支援ツールを用いた学習を週に3回の頻度で実施し、ICTの活用を進める。

3 本年度の自己評価結果の総括

大阪市立田川小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準 A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【最重要目標1 安全・安心な教育の推進】 ○ 年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。 ○ 小学校学力経年調査における「自分にはよいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を昨年度より上回る。 ○ 令和7年度の校内調査における「進んであいさつができていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を84%以上にする。	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】 児童の実態について共通理解し、いじめ・暴力行為・不登校について、解消に向けた適切な指導をする。	
指標 ・生活指導連絡会を月1回持ち、配慮が必要な児童についての手立てや家庭の情報を共有するとともに校内連携を図る。 ・学期2回以上「いじめアンケート」を取り、実態把握と早期対応に努め、解決に向けて取り組む。 ・カウンセラーや学外の機関とも連携し、支援の充実を図る。	
取組内容②【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】 道徳教育や日常の指導を継続し、「学校のきまり」を守り、安全に気を配り、規律正しい生活をおくるよう心掛ける態度を身に付けられるようにする。	
指標 ・令和7年度の校内調査における「学校のきまりを守っている」に対して、肯定的に回答する児童の割合を昨年度同様の水準に保てるようにする。 ・児童会を中心に、児童自身が主体的にきまりを守ろうとする意識を持てる取組を行う。 ・保健室と連携し、校内での事故の要因をわかりやすい形で児童に知らせ、安全に生活しようとする姿勢を養う。	
取組内容③【基本的な方向2 豊かな心の育成】 児童一人一人の自尊感情を高める取組を進める。	
指標 ・各学年で人権教育目標・年間計画を立て、計画的に実施する。 ・人権教育を含む教育活動全体を通して、学び合い、認め合う学級集団育成をし、児童の自尊感情を高める。	
取組内容④【基本的な方向2 豊かな心の育成】 自ら進んであいさつができるようにする。	

<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学期に1回、児童会を中心に「あいさつ週間」を実施し、あいさつへの意識を高めるようにする。 ・児童が意欲的に取り組める活動を計画的に行う。 	
<p>年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</p>	
<p>取組内容①【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】 取組内容②【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】 取組内容③【基本的な方向2 豊かな心の育成】 取組内容④【基本的な方向2 豊かな心の育成】</p>	
<p>次年度に向けての改善点</p>	
<p>取組内容①【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】 取組内容②【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】 取組内容③【基本的な方向2 豊かな心の育成】 取組内容④【基本的な方向2 豊かな心の育成】</p>	

大阪市内立田川小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標2 未来を切り拓く学力・体力の向上】</p> <p>○ 小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を42%以上にする。</p> <p>○ 小学校学力経年調査における算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント以上向上させる。</p> <p>○ 小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的に回答する児童の割合を73%以上にする。</p> <p>○ 令和7年度の校内調査における「毎日、決められた時刻(低学年午後9時・中学年午後9時30分・高学年午後10時)までに寝ていますか」「毎日、決められた時刻(午前7時)までに起きていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を60%以上にする。</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>研究教科を算数科とし、「数学的な見方・考え方」を取り入れた主体的・対話的な算数の指導を通して、算数の基礎学力の育成を図る。</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和7年度の校内調査における「算数の授業の内容は分かりますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を84%以上にする。 「数学的な見方・考え方」を取り入れた主体的・対話的な算数科の授業研究を、各学年1回ずつ行う。 公開授業を教員全員が行う。 メンター研修会を開き、教員の指導力向上を図る。 算数科学習の環境整備をする。 	
<p>取組内容②【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>学校教育力と外部の教育力を連携させ、多様な体験学習により、生きた学力を身につけることができるようにする。</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> 1か月に1回以上、スクールアドバイザーを招き、教員の指導力向上を図る。 地域や外部の方、外部の施設を活用した学習を、各学年1回以上実施する。 修学旅行で、外部の指導員を招き、学習内容の充実を図る。 市や区からの出前授業の募集に可能な限り申し込み、豊かな出会いや学びの場を設定する。 	

<p>取組内容③【基本的な方向 5 健やかな体の育成】</p> <p>児童が運動を好きになり、進んで体力づくりに取り組み、体力を高めることができるようにする。</p>	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間計画を基に計画的に体育学習を進める。 ・体育の学習において、学習カードを活用し、めあての達成をめざす。 ・「かけ足週間」や「なわとび週間」などの体力づくりの活動を継続する。 ・区の「スポーツ出前講座」や「トップアスリート事業」などを、学年ごとに1回は活用していく。 	
<p>取組内容④【基本的な方向 5 健やかな体の育成】</p> <p>児童が進んで自分の健康に興味・関心をもち、睡眠や朝ごはんの大切さについて考えることができるようにする。</p>	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学期ごとに「けんこうチェック週間」を行う。メディアに関するチェック項目において、自分が決めためあてを達成できたと回答する児童の割合を75%以上にする。 ・学期に1回以上、「ほけんだより」や「学年だより」等で睡眠の大切さについて保護者に啓発する。 ・「給食だより」や「食育通信」、栄養指導、また、給食委員会の活動等で朝ごはんの大切さについて児童や保護者に啓発する。 ・学校保健委員会と兼ねて、睡眠の大切さについての講演会をもち、高学年やその保護者を対象に啓発していく。 	
<p>年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</p>	
<p>取組内容①【基本的な方向 4 誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>取組内容②【基本的な方向 4 誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>取組内容③【基本的な方向 5 健やかな体の育成】</p> <p>取組内容④【基本的な方向 5 健やかな体の育成】</p>	
<p>次年度に向けての改善点</p>	
<p>取組内容①【基本的な方向 4 誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>取組内容②【基本的な方向 4 誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>取組内容③【基本的な方向 5 健やかな体の育成】</p> <p>取組内容④【基本的な方向 5 健やかな体の育成】</p>	

大阪市立田川小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【最重要目標3 学びを支える教育環境の充実】 ○ 授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の70%以上にする。 ○ ゆとりの日を週に1回以上設定・実施し、教職員の働き方改革を進める。 ○ デジタル教材や協働学習支援ツールを用いた学習を週に3回の頻度で実施し、ICTの活用を進める。	
年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【基本的な方向6 教育DXの推進】 デジタル教材や学習者用端末等のデジタル機器を活用した朝学習を週1回実施する。	
指標 ・朝学習に「デジタル学習タイム」を取り入れ、授業用端末や学習者用端末等のデジタル機器を用いた朝の学習を週に1回実施する。	
取組内容②【基本的な方向6 教育DXの推進】 デジタル教材や学習者用端末等のデジタル機器を活用した授業を週3回実施する。	
指標 ・令和7年度の校内調査における「タブレットを使った授業は好きだ」に対して、肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。 ・令和7年度の校内調査における「コンピュータや電子黒板を使った授業はわかりやすい」に対して、肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。	
取組内容③【基本的な方向7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】 会議では、議論すべき内容を精選し、設定した時間内に完結できるよう工夫する。ICTを活用して仕事の効率化を図る。	
指標 ・会議での連絡や報告事項については、PC上の校内掲示板を利用して職員全員がいつでも確認できるよう工夫し、資料等のデータ化を行い仕事の効率化を図るなどして、ゆとりの日を週に1回設定・実施し、教職員の働き方改革を進める。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
取組内容①【基本的な方向6 教育DXの推進】 取組内容②【基本的な方向6 教育DXの推進】 取組内容③【基本的な方向7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】	
次年度に向けての改善点	

取組内容①【基本的な方向 6	教育 DX の推進】
取組内容②【基本的な方向 6	教育 DX の推進】
取組内容③【基本的な方向 7	人材の確保・育成としなやかな組織づくり】